

**製品名: EGF ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10332**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	130kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EGF
別名	Pro-epidermal growth factor (EGF) [Cleaved into: Epidermal growth factor (Urogastrone)]
遺伝子 ID	1950.0
SwissProt ID	P01133
免疫原	アミノ酸配列範囲: 1000~1060 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

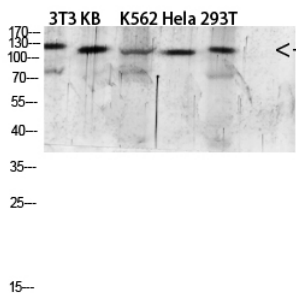
この遺伝子は、上皮成長因子スーパーファミリーのメンバーをコードしています。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって 53 アミノ酸からなる上皮成長因子ペプチドを生成します。このタンパク質は、多くの細胞の成長、増殖、分化にお

いて重要な役割を果たす強力な分裂促進因子として作用します。このタンパク質は、細胞表面受容体である上皮成長因子受容体に高い親和性で結合することで作用します。この遺伝子の欠陥は、低マグネシウム血症 4 型の原因です。この遺伝子の調節不全は、特定の癌の増殖および進行と関連付けられています。選択的スプライシングによって複数の転写産物バリエーションが生じ、そのうち少なくとも 1 つは、タンパク質分解によって処理されるプレプロタンパク質をコードしています。[RefSeq 提供、2016 年 1 月]、疾患: EGF の欠陥は、低マグネシウム血症 4 型 (HOMG4) の原因です[MIM:611718]。腎性低マグネシウム血症 (正カルシウム尿性) としても知られています。HOMG4 は、重度の腎性低マグネシウム血症と、血清カルシウム値およびカルシウム排泄量の正常を特徴とする疾患です。臨床的特徴には、発作、軽度から中等度の精神運動遅滞、および活発な腱反射などがあります。機能: EGF は、in vivo および in vitro において様々な表皮および上皮組織の成長を刺激し、細胞培養においては一部の線維芽細胞の成長を刺激します。マグネシウム向性ホルモンは、EGFR の活性化とマグネシウムチャンネル TRPM6 の活性化を介して、腎遠位尿管におけるマグネシウムの再吸収を刺激します。オンライン情報: 上皮成長因子のエントリ、類似性: 9 つの EGF 様ドメインを含みます。類似性: 9 つの LDL 受容体クラス B リピートを含みます。組織特異性: 腎臓、唾液腺、大脳、前立腺で発現します。、

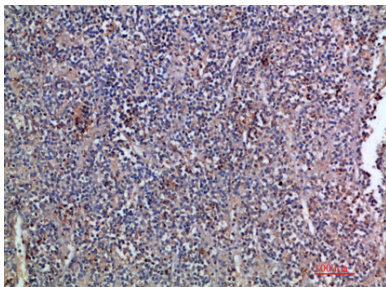
## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;ErbB\_HER;サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;エンドサイトーシス;接着斑;ギャップ結合;アクチンと細胞骨格の調節;がんにおける経路;膵臓がん;子宮内膜がん;神経膠腫;前立腺がん;黒色腫;膀胱がん;非小細胞肺癌;

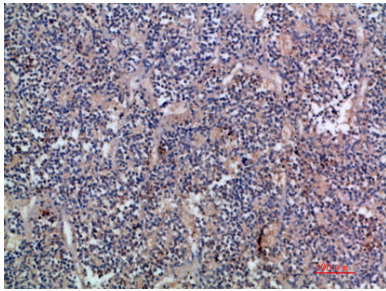
## 画像データ



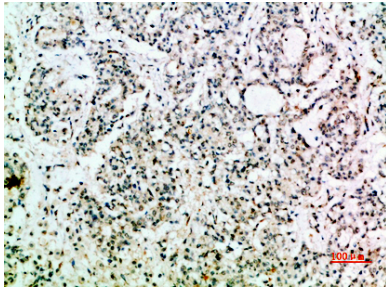
293T マウス腎臓ライセートのウェスタンブロット分析、抗体は 2000 倍希釈。二次抗体は 1:20000 倍希釈。



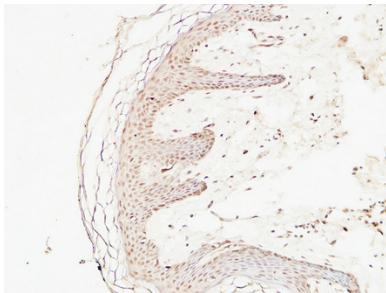
パラフィン包埋ヒト腎臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



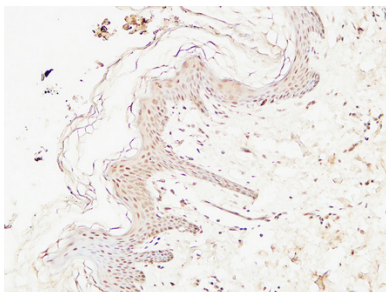
パラフィン包埋ヒト腎臓癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



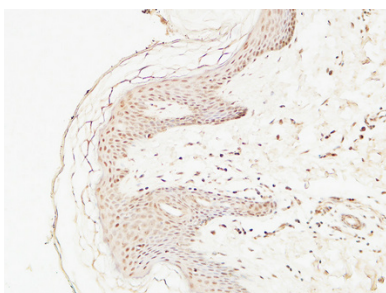
パラフィン包埋ヒト胃癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



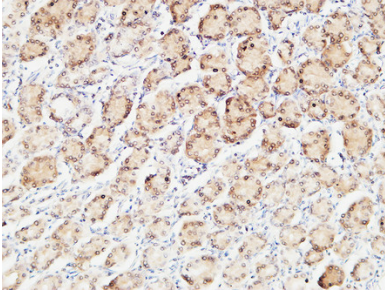
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



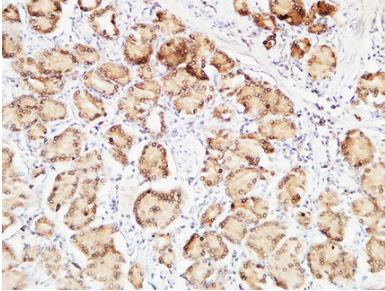
パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト皮膚の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト胃癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。



パラフィン包埋ヒト胃癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:100 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30分)。